

陸前高田発

新気仙大橋・橋げた工事



陸前高田市で進められている三陸沿岸道路の建設工事で、気仙川にかかる「仮称・新気仙大橋」の橋げたの設置が始まりました。大阪で造られた橋げたは、陸前高田で組み立てられ、クレーンで吊り上げ、



橋脚の上に取りつけられました。橋げたは奇跡の一本松のロゴマークに合わせて、鮮やかな緑色に塗装されています。新

気仙大橋は長さおよそ438メートルで、3年後の開通を目指す三陸沿岸道「唐桑高田道路」の一部となります。(7/23 ニュースエコー)

東京発

鉄路での復旧断念

JR東日本は、国土交通省で行われた沿線の市長らとの会議で、東日本大震災で被災した大船渡線について鉄路での復旧を断念し、BRTで本格復旧する案を正式に提案しました。JR大船渡線は、気仙沼と盛の間でBRT=バス高速輸送システムによる仮復旧の状態が続いていますが、JRは巨額のコストや利用者の減少などを理由に、鉄路での復旧を断念しBRTで本格復旧する案を正式に示しました。同時に利便性の向上や観光振興への協力も提案したということです。陸前高田市の戸羽太市長と大船渡市の戸田公明市長は、路線を継続することが重要として提案に一定の理解を示しました。両市は今後、住民や議会への説明を経て年内にJRの提案に対する対応を決める方針です。(7/24 ニュースエコー)



遠野発

小峠トンネル貫通



遠野市と宮古市をつなぐ国道340号立丸峠を貫く小峠トンネルが貫通しました。総延長920メートル、着工から1年4

ヶ月あまりでの貫通です。国道340号は震災時に被災地の復旧に大きく役立ちましたが、道幅が狭く、急カーブが続く交通の難所のため、県が復興支援道路として2本のトンネルを含むおよそ5.2キロの区間を新たに整備しています。小峠トンネルは2018年度の供用開始を予定しています。(7/27 ニュースエコー)

宮古発

巨人OB野球教室

篠塚和典さんや定岡正二さんなどプロ野球・巨人軍の元選手4人が宮古市の田老地区を訪れ、野球教室を開きました。篠塚さんたちが



田老のお寺の住職と交流があったことを縁に、被災地の子供たちを励まそうと2012年に始まり、今年で4回目です。教室には市内の小中学校から合わせておよそ100人が参加し、ポジション別に指導を受けました。4年にわたる交流で顔見知りになった子どもたちも多く、成長をアピールしようと懸命にプレーしていました。(7/28 ニュースエコー)

宮古発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

今週は、みやこハーバーラジオの田澤紗綾さんが8月9日(日)に開催される「第24回宮古港ボート天国」について伝えてくれました。リアスハーバー宮古周辺から藤原埠頭前までの湾内などで行われ、ヨットやシーカヤック、水上オートバイ、モーターボートなど、様々なマリンスポーツが全て無料で自由に体験できます。「参加希望の方は、濡れても良い服装か、着替えをお持ちください。」とのことでした。詳しくは「リアスハーバーみやこ」まで。

(電話番号: 0193-71-1120) (7/29)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122